

We Guard All

トップメッセージ | 高谷 康久

さらなる成長へ向け
「選ばれる企業へ」

株主・投資家の皆様へ

E-G通信

2020年9月期

2019年10月1日～2020年9月30日

成長市場を的確に捉え、
引き続き増収増益を達成しました。

コロナ禍で、不可欠な社会インフラとして、ますますインターネットの重要性が増えています。そして、このような時だからこそ安心・安全のインターネット社会を実現する「We Guard All」という当社のミッションの真価が、鋭く問われていると受け止めています。急増する動画サイト監視をはじめとするあらゆる投稿監視やサイバーセキュリティ、広告審査などで、その責任を果たしてまいりますので、皆様の一層のご支援を賜りますように、お願いいたします。



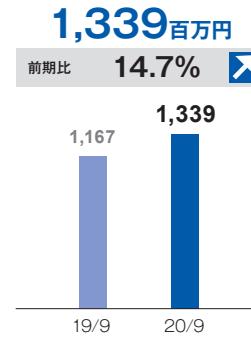
代表取締役社長
高谷 康久

業績ハイライト

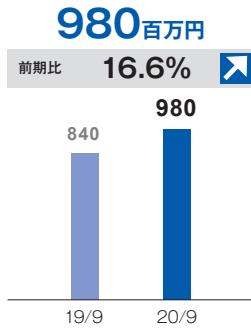
売上高



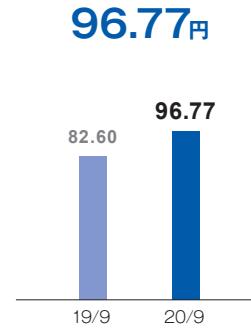
営業利益



親会社株主に帰属する
当期純利益



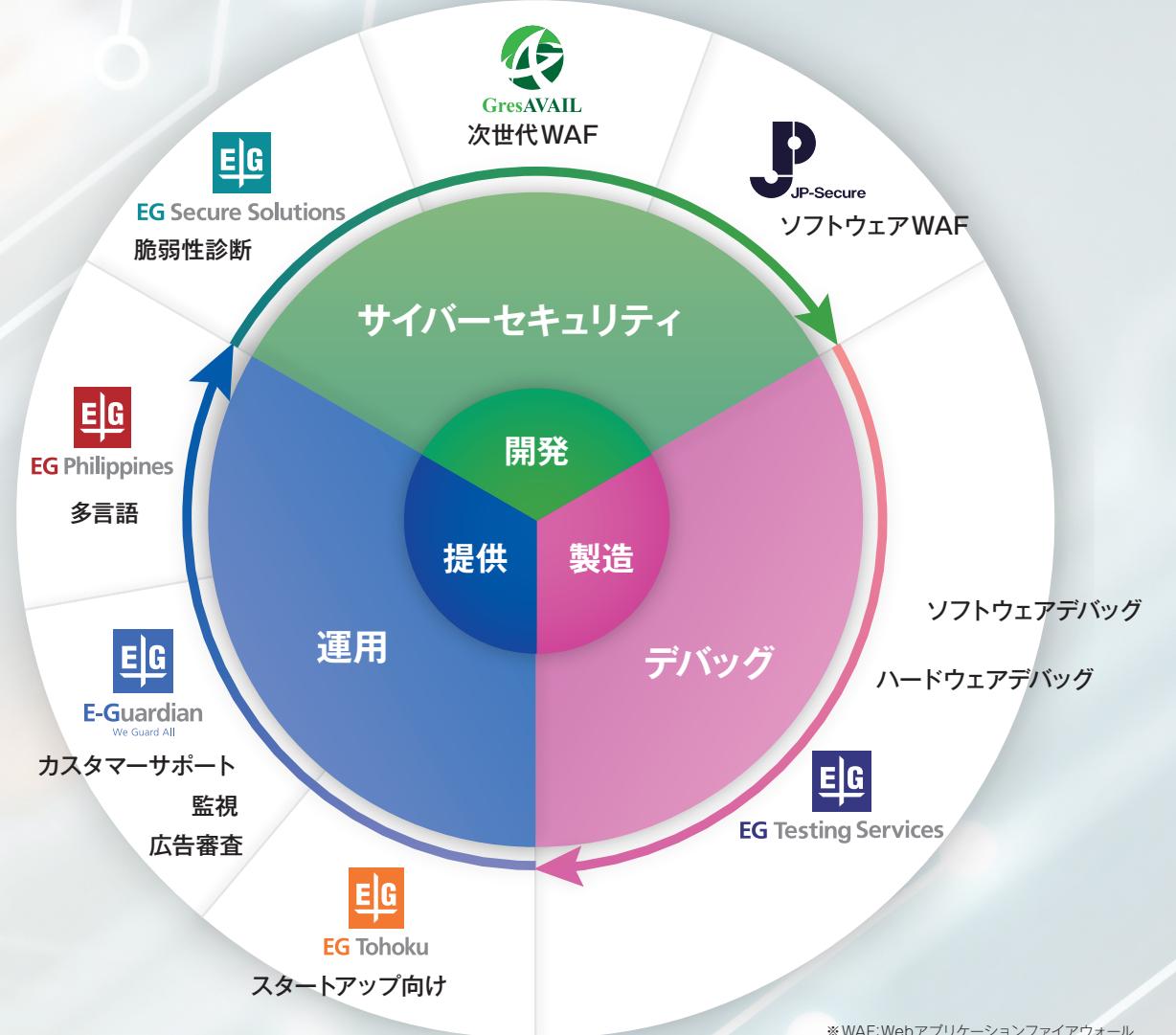
1株当たり当期純利益



Point 引き続きソーシャルサポート分野が伸長

新型コロナウイルスの影響によるリモートワークの増加や外出自粛によって、インターネットサービスには大小様々な影響が出ております。その中で、当社はコロナ禍においても成長を続ける動画領域に注力いたしました。これまでに蓄積したノウハウとAIの活用により高効率を実現し、売上を拡大いたしました。

インターネットサービスを上流から下流まで支える
セキュリティのワンストップサービス



* WAF: Webアプリケーションファイアウォール

2020年9月期の好業績を引き継ぎ、インターネットサポート事業とセキュリティソフトウェア開発とのハイブリッド企業へと発展してまいります。

2020年9月期の振り返りをお願いします。

2020年9月期は6期連続2ケタ増収増益を実現することができました。

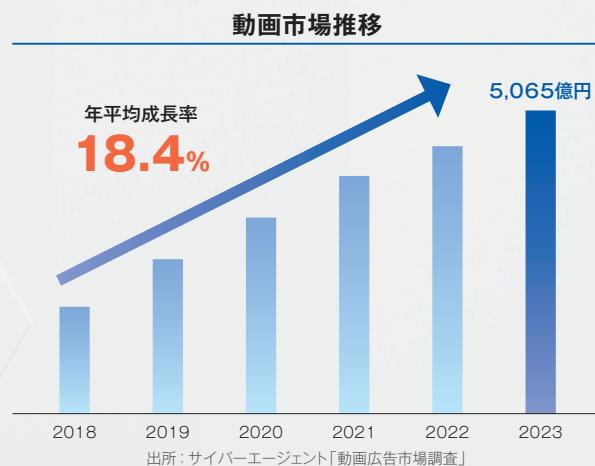
中でもコロナ禍が続く中で、ソーシャルサポート分野が大きく伸びました。内訳ですが、動画監視が飛躍的に伸びています。これは、コロナ禍の中で多くの方の在宅時間が増加し、動画サイトを見る時間が増えた巣ごもり消費が理由です。加えて、4G・スマートフォンの普及により動画市場が拡大していることもあげられます。最近の若い人はテレビよりも動画サイトを好む傾向があります。また、ゲームのようなスキルも不要であることも動画サイトが人気である理由だと思われます。

いずれにせよ、ゲームと動画双方を含めたソーシャルサポートのマーケット自体は拡大している状況ですから、この動きに対応できた結果だと考えています。

また、動画サイト等の拡大に伴って動画広告出稿量が増え、広告審査を行うアドプロセス分野も業績が大きく伸びました。

2020年9月期には5拠点の新設・拡大移転を実施

新設は新宿サテライトと広島センターで、拡大移転は子会社の仙台泉センター、E-Guardian Philippines、



そしてグレイスアベイルです。ソーシャルサポート、アドプロセス、セキュリティ部門での事業拡大に伴い、より大きな拠点が必要になったためです。いずれの拠点でも規模拡大のメリットを活かしてスタッフ数も約2割、人数にして400人ほど増加し2020年9月期の業績向上に寄与しました。

ただE-Guardian Philippinesについては、新型コロナウイルスによるロックダウンの影響を受け、拠点を移転したものの在宅勤務になってしまいました。しかし、当社全体から見れば影響は小さいものに留まりました。

セキュリティ分野の発展はいかがだったのでしょうか。

2019年8月にグレスアベイル社をM&Aで子会社化し、サイバー攻撃からウェブ・アプリケーションを守る「GUARDIAX」を開発しました。しかし、代理店などの整備が整っておらず、販売ノウハウも乏しかった

ため、2020年9月期の業績には思ったほどは結び付きませんでした。ようやく代理店も決まってきたので、2021年9月期には巻き返しが可能だと考えています。

2021年9月期の戦略についてお聞かせください。

国内サイバーセキュリティ市場は年平均7.9%の成長が続く見通しであり、当社は新たな成長領域として注力しています。Webサイトやアプリ、ネットワークを守るためにはWAF (Webアプリケーションファイアウォール) が必要です。WAFには大きく3パターンあり、当社の攻めるポイントは2つ、①次世代型は国内に競合がないこと、②フルラインナップの競合がないことです。まず、2019年にM&Aしたグレスアベイル社が国内で初めて、唯一の次世代型WAFを開発しました。

これは、AIを活用した次世代型WAFで、サブスクリプションで利用できる画期的な商品です。

“WAF”はすべてのWebサービスを守る



2020年10月にジェイピー・セキュア社をM&Aで傘下に収めました。同社はミドルクラスのWAFを得意としており、国内では顧客も多く知名度が高いという強みがあります。同社を傘下に加えたことで、知名度を活かして同社がGURDIAXの販売を手掛けることによる効果が期待できます。

しかしそれ以上に、ミドルクラスのWAFを得意とするジェイピー・セキュア社と一般クラスとハイクラスのWAFを得意とするグレイスアベイル社を組み合わせることにより、すべてのクラスをカバーできるフルラインナップが完成したことに大きな意味があると考えています。WAFの国内販売を加速させるとともに、日本発のWAFの世界展開を展望しています。

顧客を獲得していく上で、WAF単体ではなくソーシャルサポートやデバッグ、脆弱性診断などのサービスを擁していることも、当社の強みとして作用すると考

えています。

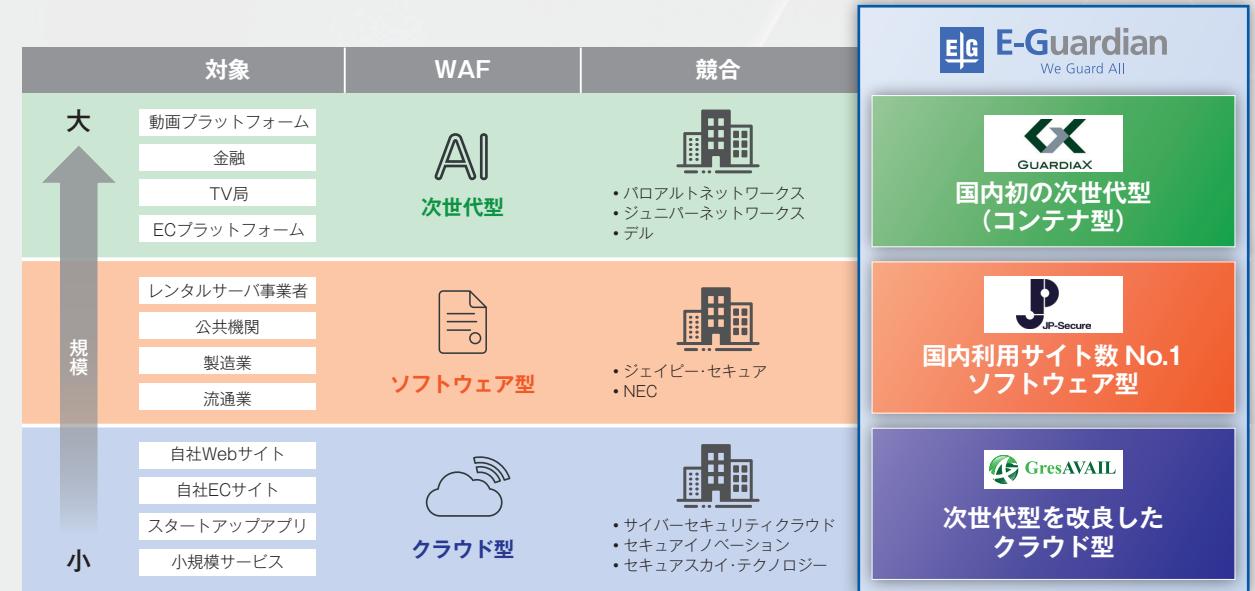
また、2020年9月期に大きく飛躍したソーシャルサポート分野ですが、引き続き拡大を追求し、ゲームサポートでは営業の強化に取り組みます。

長期的な観点では、2021年9月期をどう位置付けられていますか。

グレイスアベイル社買収と5拠点の新設・移転、ジェイピー・セキュア社の買収で、すでに布石は完了しました。今後、当面はこの布石を活かして業績の一段の向上を追求していく段階だと考えています。

また中長期的には、WAFのフルラインナップを確立できたことは、当社が労働集約型の投稿監視やソーシャルサポート中心の事業から、ソフトウェア開発・販売をもう1つの軸足としたハイブリッド型企业に転換したことを意味しています。

すべて自社開発によるWAFのフルラインナップを揃えた



さらに、将来はコールセンター事業など労働集約型ビジネスのほとんどはAIに代替される可能性も否定できません。仮にそのような事態を迎えたとしても、当社はソフトウェア企業として発展し続けることができる、その基盤を確立したと考えています。

株主の皆さまへのメッセージをお願いします。

当社は、インターネット社会に不可欠な安全・安心に関わるサービスを提供し、ソーシャルサポートなどの着実な収益性のある事業を基盤としつつ、サイバーセキュリティやWAFなどの新しい事業分野で大胆な挑戦による高成長を実現して参りますので、引き続き一層のご指導ご鞭撻をお願いいたします。

代表取締役社長
高谷 康久



サイバーセキュリティ市場は拡大



会社概要 (2020年9月30日現在)

商号	イー・ガーディアン株式会社 E-Guardian Inc.
代表者名	代表取締役社長 高谷 康久
設立	1998年5月
資本金	36,428万円
従業員数	連結1,808名(うち契約社員数1,429名)
本社	〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー8F TEL: 03-6205-8857 FAX: 03-6205-8858
関連会社	<ul style="list-style-type: none"> ■ EGセキュアソリューションズ株式会社 ■ 株式会社グレスアベイル ■ 株式会社ジェイビーセキュア(2020年10月子会社化) ■ EGテストングサービス株式会社 ■ E-Guardian Philippines Inc. ■ イー・ガーディアン東北株式会社

株式情報 (2020年9月30日現在)

株式の状況

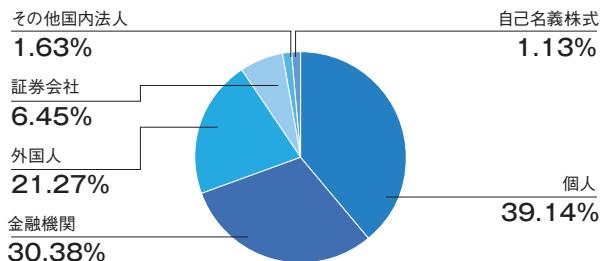
発行可能株式総数	32,400,000 株
発行済株式の総数 [うち自己株式 117,577 株]	10,405,800 株
株主数	8,236 名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	806,700	7.84
高谷康久	796,804	7.74
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	757,580	7.36
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	623,500	6.06
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニーレギュラーアカウント	562,529	5.47
ジェーピー モルガン バンク ルクセンブルグエスエイ 1300000	514,800	5.00
J. P. MORGAN SECURITIES PLC FOR AND ON BEHALF OF ITS CLIENTS JPMSP RE CLIENT ASSETS-SETT ACCT	194,600	1.89
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	175,000	1.70
JPモルガン証券株式会社	160,184	1.56
野村信託銀行株式会社(投信口)	154,100	1.50

(注)1. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 持株比率は小数点第2位未満を四捨五入して表示しております。
3. 自己株式には役員向け株式交付信託が保有する当社株式(160,780株)は含まれておりません。

所有者別株式数の分布状況



株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月に開催
株主名簿管理人	〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-782-031(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告とする。 やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

電子公告掲載 URL

<https://kmasterplus.pronexus.co.jp/main/corp/6/0/6050/index.html>



イー・ガーディアン株式会社

<https://www.e-guardian.co.jp/>

〒105-0001

東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー8F

TEL:03-6205-8857 FAX:03-6205-8858

